

所管課		危機管理室															
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策										
	第4章 安全安心都市			04 防災			02 災害による被害の拡大を防止する										
	事業：防災管理事業												整理番号	0451			
目的		災害発生時に、迅速かつ効率的に対応することを目的に、必要物資の備蓄や防災設備の整備・点検を実施する。															
目標		食糧や生活必需品の備蓄、緊急時通信機器の整備や防災資機材の整備を継続的に行う。															
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		80,889		コスト情報・評価	総コスト(千円)		88,117		総合評価	A	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		9,795		内訳	事業費		80,889			効率性		A			
		国府支出金		14,600			人件費		7,228			有効性		A			
		地方債		56,400			公債費		0		河内長野市地域防災計画の災害予防対策どおりにおおむね取り組んでおり、また災害時協定により応急対策を講じているため。						
		その他特定財源		94			一人あたり(円)		781								
							世帯あたり(円)		1,869								
	評価理由																
貢献度		施策に対する事業貢献度		B		根拠		市民の生命・財産や社会機能を守る									
今後の方向性		各施設要望や他市状況を踏まえ検討。															

事業優先順位		1	細事業:防災設備管理事業					整理番号	03	
目的		防災設備・備品の適切な管理を行う。								
目標		防災設備・備品の適切な管理を行う。								
事業実施主体		直営	事業開始年度	昭和64年度	根拠法令					
事業費・財源	事業費・財源内訳	事業費(決算額)(千円)		平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数	総コスト(千円)		平成24年度	比較
		一般財源		72,610			78,251			
		国府支出金		7,116			72,610			
		地方債		14,600			5,641			
		繰越金		50,800			0			
				94			一人あたり(円)		693	
				0			世帯あたり(円)		1,659	
				0			職員数(人)		0.60	
							再任用職員数(人)		0.40	
		今後の方向性		訓練等の機会を活用したメンテナンスの実施。(地域関係者が使える仕組みづくり)						
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	河内長野市民					
	A	A	A							

事業：防災管理事業

災害発生時に、迅速かつ効率的に対応することを目的に、必要物資の備蓄や防災設備の整備・点検を実施した。

細事業：防災設備管理事業

1. 自動体外式除細動器（AED）の維持管理

心肺停止状態直前の方を救命するためには、第一発見者が迅速に心肺蘇生法を行うことが重要であることから、平成18年度から順次公共施設にAEDを配備しており、平成24年度末現在の配備数は51台となっているが、これらのAEDについて、使用期限切れに伴う電極パッドやバッテリーの更新を随時行った。

自治会などの市民団体が実施する行事等に参加する方々が心肺停止状態に陥ったときの救命活動に備えるために、AEDの貸出しを行った。

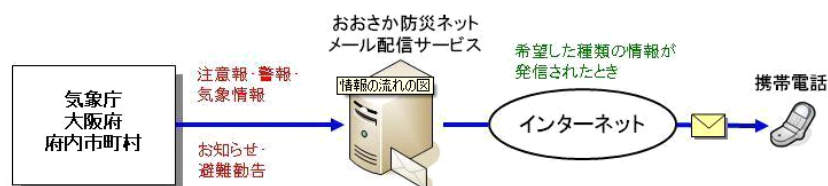
- ・貸出可能台数 3台
- ・貸出件数 28件



2. おおさか防災ネットによる情報の提供

大阪府及び大阪府内市町村が共同で、災害等の発生時に安全に行動することができるよう幅広い防災情報をインターネットにより提供した。

○情報の流れ



○設定できる通知情報

避難勧告・指示状況、津波、地震、台風、気象警報・注意報、土砂災害、水防警報情報、光化学スモッグ、お知らせ（その他緊急情報、防災イベント情報など）

3. 同報系防災行政無線設置工事

同報系防災行政無線の親局設備（遠隔制御器含む）のデジタル化
新設防災行政無線拡声子局（小中学校） 14基設置

